

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴 法人の福祉理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に、ご利用者・ご家族・地域の方に対してお役立ちができるよう努めています。 ご利用者の「～したい」の思いを聴き、その人らしさを支える事を目標に、「生協10の基本ケア」に基づいた生活リハビリを行い、出来ることを増やすことで、「ご本人が望む暮らし」が実現出来るよう職員一丸となって取り組んでいます。 また、認知症カフェを毎月開催したり、近所の神社を定期的に清掃したり、集会室のお貸出しをしたりしながら、地域に密着した事業所をめざしています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 大野きらめきハウス	管理者	村崎 陽子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1		1		1			3		6

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所 自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価については職員の理解と業務のレベルの向上のために、年間計画を立てて取り組みます。 外部評価の際に、資料だけは分かりにくいいため、日頃から運営推進会議参加者の方と交流できる機会を作っていきます。 	<p>【自己評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員に前回の改善項目を説明した上で9項目の用紙を事前に配布しました。 項目に沿ってできているかどうか、個人としての意見を文章で出してもらいました。この方法をしたことで、会議の場では意見を出しにくい職員からの思いも確認できました。 出された個人の意見を項目別に集計したことで、今後の課題が明確となり、職員全員でその課題を確認することができました。 <p>【運営推進会議について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2か月に1回開催し、活動報告を報告させて頂きました(書面確認含む)。新型コロナウイルス感染防止のため入館制限となり、参加者の目で日頃の活動を見て頂くことはできませんでした。 	<p>【自己評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価を見ている限り頑張ってお仕事されていると思います。 <p>【地域かわりシートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「常勤スタッフ全員が取り組んだか」とありますが、誰が常勤なのか分かりません。 質問内容が分かりにくいところもありましたが、今回補足してもらい理解できました。 自己評価で「できている」と評価している項目は、○をしました。 私達は外部からの意見であり、自己評価と違う回答になると思います。 「はい・いいえ・わからない」の回答に加え、中間の回答もできるようにしてほしいです。 実際、外部からでは分からない事がたくさんあります。 	<p>【自己評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> できている点・課題を今後も全員で評価し改善に努めていきます。 <p>【地域関わりシートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰が常勤か明確にします。 配布前に、質問内容について詳しくご説明いたします。 中間の回答追加の要望は、関係機関に報告いたします。 外部の方に適切に評価頂くため、日常風景を撮影した動画を運営推進会で視聴頂き、コロナ禍で見学できない状況下で知って頂く機会の1つとさせていただきます。

<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「きまぐれカフェ」を継続し、子供たちとの世代間交流を持てるようにします。 ・サロンや集会所利用者との関わりを増やせるしかけを考えていきます。 ・年2回(6月、11月)の家族会は継続し、家族同士が交流し、悩みや不安を話し合える場になるよう工夫していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回「きまぐれカフェ(地域の小学生を招いたカフェ)」を、何とかして開催したいと思っていましたが、新型コロナ感染防止のため、施設内へ外部の方が入館制限となり、開催を断念せざるを得なくなりました。 ・同様、サロンや多目的室利用者との関わり、家族会も中止となりました。 ・地域との関わりに制限が多くありましたが、感染予防対策を行いながら、地域の方、中学生の方、ご利用者、職員とのバケツ稲作りを実現でき、世代間交流もできました。 	<p>【鍵をかけないケアについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鍵をかかかっていませんか?」とありますが、いつもかかっているものと思っていました。 ・最初は玄関の戸が重く、鍵がかかっているように感じましたが、かかかってはいません。 <p>【不快な臭いの有無について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の中の不快な臭いは入ったことがないのでわかりません。 ・何度か施設に行きましたが、不快な臭いを感じたことはありません。 	<p>【鍵をかけないケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関の戸に、扉が重いことがわかるよう表記します。 ・扉の修繕も検討します。 <p>【不快な臭い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在ほとんどないですが、今後も発生しないよう、適切な排泄ケアと環境整備・換気を行っています。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな行事は年間で計画を立てますが、利用者のお出かけ希望があれば、その都度実施できるよう検討します。 ・神社清掃や認知症カフェ・サロン・秋祭りなど、広報をしっかりと行い、継続、発展させていきます。 ・天神町の生の声を聴く取組み(アンケート等)については、自治会長と実施をどうするか相談します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大防止のため、地域のイベント中止が相次ぎました。3密を避けるためにドライブ中心の外出となりましたが、季節を感じていただくため、ひまわり畑、コスモス畑、六呂師高原、紅葉ドライブ等を通して、たくさんの自然に触れることができました。 ・神社清掃については、回数は減りましたが、ご利用者と地域の方と職員で行うことができました。 ・天神町の生の声を聴く取組みについては新型コロナ感染防止でご意見を聞かせていただく機会が少なくなり実現できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響でどこの事業所でもイベントができなかったのは一緒だと思います。 ・自然豊かで、ドライブなどの外出ができる環境にあるため、利用者さんも気分転換することができて良いと思います。 ・きらめきの祭りは何度も開催されており、親しみを持たれているのではないのでしょうか。十分、周知されていると思います。 ・皆さん、きらめきさんをよく知っていると思います。生協が知名度あり、場所も良いと思います。街中なので近いですし、親近感もあると思います。 ・事業所が地域から相談しやすい場所になっているかどうかはわかりません。 	<p>【地域とのかかわりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染対策をした上で、かかわり強化を模索していきます。 <p>【事業所の周知度について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年4月にスタートしたSNSも活用し、さらに認知度向上に努めていきます。 <p>【相談しやすい場所について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所だけでなく、きらめきでも相談できるということの周知を工夫していき、相談があった際は誠実に対応します。
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源に関しては、その方を中心とした地域とどのような関係性があったか、今はどんな関係性があるのかを調べていきます。民生委員さんとも連携し活用できる社会資源(人・制度・場所ほか)を見つけ、連携を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援が必要なご利用者には、なじみのスーパーを利用したり、内服の配達を薬局に協力を依頼したりする等、地域の社会資源を取り入れることができました。「軒下マップ(本人と地域のつながりを把握するシート)」のツールの共有はしましたが、ご利用者対応が優先してしま 	<p>【軒下マップについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成させるには、たくさんの情報が必要になりますよね。出来上がったらすごいものになると思います。利用者からの情報だけでは難しいと思うので、家族にも聞いてもらえば良いです。 	<p>【軒下マップについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者本人からもお聞きしますが、ご家族にも協力を頂いて完成させ、本人の望む暮らしにつながっていきます。

	<p>きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらめき周辺のイベントはもちろんのこと、利用者の住み慣れた地域のイベントに個別で参加できるよう支援します。 ・近所の心配な方については必要時に包括に相談します。 ・「小規模新聞」は今年度、最低年1回発行を目標に試みます。 	<p>い、なかなか活用できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの関係で、各種イベントの中止と、施設への入館制限で地域の方との関りが大幅に減少しました。 ・「小規模新聞」の発行については、きらめきでの活動の写真を外部に出さないで欲しいとの声もあり、発行が難しくなりました。個人情報同意書で OK 頂いた方については、SNS(フェイスブックやInstagram)で発信しています。 	<p>【利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような会議があることは聞いていないし、民生員として会議に参加したことはないです。 ・地域を交えた会議とはどんな会議のことでしょうか？何かの説明書きがあると良いと思います。 	<p>【利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族・関係するサービス事業所とのサービス担当者会議に、民生委員の方初め関係する地域の方の参加も必要に応じて呼びかけていきます。その結果、事業所だけでなく地域と一緒にその方を支える体制を作っていきます。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・きらめき通信に会議の日時・内容を案内し、ご家族の参加を増やします。 ・祭・神社清掃・ラン伴初め、イベントを企画するにあたり、事前に運営推進会議にはかり、意見を聴き、企画に反映させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの家族にご参加いただきたく、お声かけしていますが、お仕事等で都合がつかず参加を増やすことに繋がりませんでした。 ・祭等、お声をいただくイベントが新型コロナの関係で中止となり、行った活動の報告のみとなってしまいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの為、企画していてもできなくなったのは仕方がない。 ・きらめき利用以外の地域の心配の方の事例検討は上がっていない。 	<p>【運営推進会議を活用した取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に関係する企画に関しては事前に運営推進会議でご意見を伺います。 <p>【地域の心配な方の事例検討】</p> <p>必要に応じて会議で共有し、できる範囲で協力させていただきます。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに防災訓練の計画を立て地域の方にも案内を配布し、参加の呼びかけを行います。 ・これまで、なかなかできなかった民生委員さんとの関わりを少しでも増やしていきます。 ・地震以外の災害訓練、夜間を想定した防火訓練も検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が、利用者の住む地域の民生委員と災害時の避難場所の把握を目的に、防災マップの作成を、利用者と一緒に始めています。自分たちの暮らした昔の町並みを思い出され回想法にもつながっています。 ・防火訓練は、新型コロナ感染防止のため、3月は中止、9月は利用者職員のみで短時間で開催しました。短時間のため、災害訓練・夜間を想定した訓練は実施できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな災害もなくて良かった。 ・アンケートに防災計画を知っていますか？とありますが、わかりません。 ・隣が消防署で安心しています。 ・夜間想定訓練は必要だと思います。 ・事業所のいろいろな関わりのある方の協力を得て下さい。 	<p>【防災計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、計画を共有いたします。 <p>【防災訓練について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害訓練は2021年3月に防災と合わせて実施します。 ・夜間想定訓練は次年度、実施します。 ・地域住民含む関係者に協力を要請していきます。 ・防災マップの作成を継続します。